

地域研究・国際研修プログラム

プログラム区分	海外実習	
主幹部署・問合せ先	現代国際学部	
研修先国・都市名	イタリア・未定	
研修先	サッサリ大学	
プログラム概要	<p>この研修は、主に自然災害や人口減少といった国内外の地域社会が直面する様々な課題の解決方法を座学とグループワークを通じて考える実践的な国際研修で、イタリアのサッサリ大学等を中心に、ヨーロッパやアジア各地の大学と共催して開催しているものです。講師として、世界各地の研究者、実務家が集い、バラエティに富んだ授業が行われます(言語は英語)。参加学生は、イタリア、ドイツ、ポーランド、タイ、インドネシアなど世界各地から集まり、本学の学生はこのチームに加わって具体的なまちづくりプロジェクトを進めていきます。また、期間中には、参加者がそれぞれの国の料理を作って交流会を行うなど密度の濃い交流が行われます。</p> <p>持続可能なコミュニティづくりをメインテーマとして、観光を通じた地域再生の取り組みを直に学びながら、理論と実践の循環をベースとしたプロジェクト形式の研修を行います。なお、研修期間中には、ローマ等での現地視察、観光等も行います。なお、このプログラムに参加した現地の学生が、翌春に日本に訪れるなど(非正規科目としてスプリングスクールを開催しています)、継続的な交流が行われるのも本プログラムの特徴です。</p>	
日程	2026年8月下旬～2026年9月中旬 (2週間)	
単位認定	地域研究・国際研修プログラム A (2単位)	
他学科生の受入れ	不可 受入れ可の他学科：-	
内容	語学研修：無	語学研修以外の内容：有
引率者の有無	全日程	
住形態	ホテル	
参加費用 (概算・見込み)	参加費総額： 860,000円/人 大学補助金： 最大 110,000円	
その他		

体験記

地域研究・国際研修プログラムに参加して

氏名：沢登一彩 （2025 年度参加）

今回の研修では、ステークホルダー分析や人口・地域データを用いた分析方法を学び、所属ゼミで取り組んできた「観光まちづくり」と多くの共通点があると感じました。大学では主に地域課題の抽出や観光振興の視点から解決策を考えてきましたが、研修では災害リスクや環境要因も含めた多角的な視点が求められ、まちづくりの複雑さと重要性を実感しました。特に、サントゥ・ルッスルジュでのフィールドワークでは、観光資源の活用だけでなく、安全性や持続可能性を意識した都市設計の必要性を現地で学びました。また、サッサリ大学で都市計画を学ぶ学生や高知大学で地理学を学ぶ学生とグループワークを行い、異なる専門分野の視点に触れることで、自分では気づかなかった課題や解決策を考える力が養われました。研修中は講義内容の復習や観察・記録に努め、図や写真を活用して英語での説明を補いながら、意思疎通と発表の質の向上に貢献しました。さらに、地元住民との意見交換を通して、地域の課題を当事者の視点から捉える大切さも学びました。この経験を通して、多様な背景を持つ人々と協働する大切さや、物事を多角的に捉え柔軟に行動する力の重要性を学び、今後も地域課題解決に向けた実践的な活動に積極的に関わっていきたいと考えています。

